

## 柏市自立支援協議会全体会 部会報告シート

<b>【部会名】</b> 相談支援部会	<b>【部会長】</b> 地域生活相談センター シヤル 関口 篤行
<b>【開催報告】</b> 1 相談支援部会 (1) 第2回：6月18日（金）リモートによる開催 ア ワーキングチームからの報告 5月19日に実施した下記事例検討について報告を受けた。詳細については第1回自立支援協議会全体会、相談支援部会報告書を参照。今後も事例を検討することで相談員が実際に困っていることや地域の課題等について相談支援部会で検討していく。 ・共働き家庭の増加による福祉サービスの在り方 ・ともに行う家事に関する考え方 イ 障害者相談支援連絡会について 連絡会のテーマや目標設定について相談支援体制の強化を念頭に検討し、下記テーマを中心に相談員のスキルアップを図る研修会を実施することとした。 ・基本相談について ・相談員の役割 ・自己決定、意思決定 ウ サポートファイルについて こども部会で推進しているサポートファイルの周知・活用について意見交換した。下記意見があり相談部会でも取り組んでいく。 ・学校や医療等の協力も得て関係機関がそろって推進していく体制作りが必要ではないか ・電子化やアプリ化について検討しても良いのではないか ・記入する保護者へのフォローが必要ではないか エ その他 ・新委員として手をつなぐ育成会の菅井氏に参画頂くこととなった。 ・ワーキングチームに欠員が出たため相談支援事業所ほたるの吉井氏に打診する。  (2) 第3回：8月6日（金）リモートによる開催 ア ワーキングチームからの報告 7月21日に実施した下記事例検討について報告を受けた。各提言については後段のワーキングチームの報告を参照。ワーキングからの報告を受け、相談員に寄り添いながら連絡会等の企画や情報提供を行い相談支援体制の強化に取り組むこととした。 ・性的な関心や興味への対応 ・報酬が付かない範囲の支援 イ 相談支援連絡会について 第3回相談支援連絡会の報告及び振り返りを行った。 不登校の中等部男児の自己決定支援についてグループワークを行った。成果について	

ては障害者相談支援連絡会を参照。

意思決定についてある程度の理解は深まったが、オンライン開催であったことから不慣れな相談員は質問ができなかったり、テーマの捉え方に差が出たことからグループごとに進行がまちまちとなる等、次回連絡会に向け課題も残った。

#### ウ サポートファイルについて

相談支援部会として普及啓発に取り組むため事務局からサポートファイルの概要を改めて説明した後、意見交換を行った。下記意見があり相談部会でも引き続き検討を行っていく。

- ・モニタリングの時や、学校が替わるなど節目で相談員が確認してはどうか
- ・相談員と一緒に書いていくことが大切ではないか
- ・相談員からの手渡し、市役所や事業所の窓口で配布できないか

## 2 障害者相談支援連絡会

### (1) 第2回：8月6日（金）リモートによる開催

ア ノーマライゼーションかしわプラン2021概要版、柱1『みんなで守り寄り添う共生のまちづくり』について障害福祉課から説明を受けた。

イ 第1回及び第2回の相談支援部会について部会長から報告を行った。

ウ 個別避難計画について福祉政策課から説明を受けた。

#### エ 事例検討 「学齢期における意思決定支援」

学校との連携や家族との関わり、障害特性に応じたコミュニケーションの取り方、相談員との信頼関係、アセスメントの重要性について理解が進んだ。

オ 個別避難計画についての質問は事務局でとりまとめることとなった。

## 3 計画相談実務者ワーキングチーム

### (1) 第2回：7月21日（水）リモートによる開催

ア 事例1 性的な関心や興味への対応

イ 事例2 報酬が付かない範囲の支援

ウ 相談支援部会への提言

- ・障害児の性教育、性の問題について。（支援方法や関係機関の情報提供）
- ・基本相談の在り方と基幹、拠点、委託相談との連携。

### 【今後の活動予定】

#### 1 相談支援部会

第4回：10月22日（金）リモートによる開催

#### 2 相談支援連絡会

第3回：11月5日（金）対面及びリモートによる開催

#### 3 計画相談実務者ワーキングチーム

第3回：9月15日（水）対面及びリモートによる開催

<p>【部会名】 くらし部会</p>	<p>【部会長】 社会福祉法人 彩会 平山 隆</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 くらし部会</p> <p>(1) 第2回くらし部会：10月4日（月）対面、リモート併用による開催</p> <p>ア グループホーム等支援ワーカーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム等支援ワーカーの委託先機関について意見交換。グループホーム等支援ワーカーは、第3者的な立場の機関に担って頂きたい。</li> </ul> <p>イ 日中サービス支援型グループホームについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉課より、「日中サービス支援型共同生活援助 新規指定時事業計画シート（案）」「日中サービス支援型 報告・評価シート（案）」について説明。</li> <li>・日中サービス支援型グループホームは重度化、高齢化した方に向けて、何らかの理由で日中活動に出られない方へのサービスではあるが、区分の規定などはなく、入所の基準は事業者が決める。</li> <li>・年1回の自立支援協議会での報告が義務付けられているが、自立支援協議会から委員を選出し、評価委員を作るといった意見もあった。</li> <li>・グループホーム等支援ワーカーが訪問するなど、外部の目が入る仕組みがあると良い。</li> <li>・重度高齢化の方が利用しやすいように、お風呂を広くするなど設備面の項目をシートに入れる。</li> </ul> <p>ウ 虐待が起きた時の情報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会で、虐待が起きた時の情報についてどのように共有していくか、検討していきたい。</li> </ul> <p>2 グループホーム等連絡会</p> <p>(1) 第1回グループホーム等連絡会：9月3日（金）リモートによる開催</p> <p>ア 新型コロナウイルス感染症について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナホテルについて、市での確保は現状ないが、要望があれば検討して行く。しかし療養ホテルについて、グループホーム入居者は対象ではない。</li> <li>・障害福祉課の方でも保健所の動きを確認して、連携についての情報を集約し共有してもらえると良い。</li> <li>・障害者のワクチン接種については年齢で区切られており、グループホームは年齢の幅が広く、当てはめにくい。現状市から、接種が難しい方に対しての接種方法について検討している段階。</li> <li>・保健所の濃厚接触者の特定範囲や、PCR検査の対象が限られて来ている。PCR検査を受けたいという人に対しての補助を市でも検討をしてもらいたい。</li> <li>・24時間対応の訪問診療、訪問看護ステーションが中心になって、感染した方の家をまわる形式が始まった。</li> </ul>	

- ・BCP策定については、法人に関わらず作成することが報酬改定で決定した。
- イ グループホーム等支援ワーカーについて
- ・グループホーム等支援ワーカーの委託先について意見交換。・拠点に設置するという意見もあったが、第三者的な立場で風通しを良くするために、グループホームを持っていない法人が担った方が良いとの意見があった。
  - ・あいネットが中核センターの時は、グループホーム支援ワーカーが設置されていた。過去の実績もあることから、あいネットにお願いできると良い。
  - ・あいネット1本で運営できるのか疑問との意見もある。あいネット、障害福祉課と議論しながら模索していく。
- ウ 日中サービス支援型グループホームについて
- ・障害福祉課より、「日中サービス支援型共同生活援助 新規指定時事業計画シート(案)」「日中サービス支援型 報告・評価シート(案)」について説明。
  - ・日中サービス支援型グループホームは1年の入居状況確認、積極的な外部からの意見の取り入れ、くらし部会出席を促すなどは可能性かもしれないが、それらに強制力はない。
  - ・地域の関係団体との連携の明記をするといいいとの意見がある。
  - ・日中サービス支援型グループホームは、現状のグループホームで対応が難しくなった重度、高齢化した利用者の居場所の確保として始まっているが、現在利用している事業所の法人で移行したいという話も出た。
- エ 虐待を含めた対応について
- ・柏市内の放課後デイで虐待案件があったことについて、指導の段階では事業所の名前を公表していなかった。保護者へ数値だけでなく、より生々しい情報として提供する必要があるのではないか。
  - ・なぜ虐待が起きたのか分析した情報を出すことで、事業所側としても気を付けることができ、保護者としてもその後の対策にしっかり取り組んでいるかがわかるのではないか。
  - ・このような仕事をしている中で、個人の感情や疲れ等がありながら、自分の嫌な面が引きずり出されることがある。そのような感情になることもある職員をサポートして行くような体制を作れると良いのでは。

**【今後の活動予定】**

1 くらし部会

3回目：令和4年1月7日（金）

2 居宅支援連絡会

1回目：令和3年11月9日（火）

<p>【部会名】 はたらく部会</p>	<p>【部会長】 かるのこ 室山 圭史</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 はたらく部会</p> <p>(1) 第2回：8月25日（水）WEBによる開催</p> <p>ア 進捗報告</p> <p>(ア) 一般就労連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同企業説明会については、感染拡大防止のため延期。</li> <li>・企業向けセミナーについては、開催テーマに関する意見交換。コロナ禍における障害者就労の在り方について意見があった。今後、松戸市との打合せを実施予定。</li> </ul> <p>(イ) 福祉的就労連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同販売会の開催等については、丸井柏店、セブンパークアリオ柏店は延期。豊四季台地域活動館は8月と9月が中止。</li> <li>・施設外就労と内職については、千葉県障害者就労事業振興センターより情報提供があり、部会と協力しながら課題や連携について相談していく。</li> </ul> <p>イ 意見交換</p> <p>(ア) 就労定着支援の課題（企業側と支援者側の視点から）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビッグ・ハート柏と就労定着支援サービスの違い、外部から依頼を受けた際の引継ぎ、利用者自身と企業の本人理解を深める支援について意見があった。</li> <li>・ほか、コロナ禍における障害者就労の在り方。報酬改訂後のレポート提出によるトラブルについての意見があった。</li> <li>・企業側の視点については、次回以降の検討課題。</li> </ul> <p>(イ) 就労継続支援事業所における課題の抽出(工賃向上)とアンケート調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市内就労継続支援事業所に向けて、アンケート調査を実施予定。</li> <li>・障害者等社会参加コーディネート事業について、8月より代行販売の受付開始。購入対象者や用途を詰め、やりがいや社会参加に繋がればとの意見があった。</li> <li>・精神障害の方など、毎日通うことが難しい方もいるなかでの工賃向上の厳しさ。</li> <li>・コロナの影響による収入減。コーディネート事業なども活用しながら、商品を守る取り組み等、継続した意見交換ができると良いとの意見があった。</li> </ul> <p>ウ 支援者向け研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般就労連絡会、福祉的就労連絡会の合同開催（WEB）。</li> <li>・内容については、講義「セルフケアについて」とグループワークを行う。</li> <li>・対象については、若手職員（年齢問わず経験年数の浅い方）～中堅職員。</li> <li>・講師については、千葉産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策事業促進のご担当者をお呼びする。</li> </ul> <p>2 一般就労連絡会</p> <p>(1) 第1回：7月2日（金）WEBによる開催</p>	

ア 各種報告

イ 企業向けセミナー開催に向けた検討

- ・松戸公共職業安定所より、障害者雇用の現状と動向について情報提供。
- ・障害福祉課より、企業向けセミナーと就職者数についての情報提供を行い、開催テーマについて意見交換。

ウ 定着支援の現状と課題

- ・ビック・ハート柏の現状を踏まえて意見交換。
- ・定着支援事業の登録を希望される方、引継ぎとなる方は増加傾向。また、企業から毎月の面談を希望されることも増えている。
- ・制度の制約がある中で本人と企業のニーズに対して行う支援、事業所同士の引継ぎや連携については継続課題。

(2) 第2回：10月18日（月）WEBによる開催

ア 進捗報告

- ・ジョブコーチの活用と周知については、特別支援学校を卒業後すぐに一般就労する方へ活用してもらうため、柏市在住の方が通う学校に向けて周知を進めていく。

イ 就労定着支援の現状と課題

- ・部会と連絡会より上がった課題を共有。定着支援における引継ぎ項目や方法、引継ぎ時に注目するポイントなどについて意見交換。

ウ 利用者自身と企業の本人理解を深める支援

- ・面談回数の調整、担当者の見直し、相談支援との連携、セルフケアシートの活用、面談同席時の定着支援員の役割などについて意見があった。
- ・考え方や意識の改革。企業を育てる、本人の力を伸ばすといった点でジョブコーチ的な視点も必要であるとの意見があった。

エ 事業所継続における感染症対策の取組

- ・陽性者や濃厚接触者または疑いのある方が出た時の対応について意見交換。
- ・徹底した消毒、緊急時のマニュアル作成、訓練生の連絡先確認と情報更新、BCP作成、水際対策などの意見があった。

3 福祉的就労連絡会

(1) 第1回：7月2日（金）WEBによる開催

ア 各種報告

- ・農福連携に向けた取組みについては、千葉県障害者就労事業振興センターの協力のもと、かぶ農家と連携し作業を提供していただく。
- ・障害者等社会参加コーディネート事業では、社会参加のアプローチ方法を検討。

イ ジョブコーチ派遣事業について

- ・事業の概要、主な対象者、想定される利用方法、窓口に関する説明を実施。

ウ 工賃向上に向けた取組（合同販売会の開催など）

- ・販売系については、販売会スケジュール（丸井柏店、セブンパークアリオ柏店、

豊四季台地域活動館)の報告と、参加に関する質疑応答を行った。

(2) 第2回：10月18日(月)WEBによる開催

ア 進捗報告

・豊四季台地域活動館は10月14日に2回目を実施。現時点で3事業所が参加。

イ 障害者等社会参加コーディネート事業について

・事業受託者であるNPO法人テラス21より活動報告及び新規事業について説明と質疑応答。

・教育福祉会館1階で代行販売を実施。開所時間は月、水、金の10時～16時。

・現時点で4事業所が参加。

ウ 農福連携に向けた取組みについて

・千葉県障害者就労事業振興センターより進捗報告と質疑応答。

・費用的な面での後押しや、工賃に関する意見があった。

エ ジョブコーチの活用と周知について

・今後の取組みに向けての意見交換と事業内容について質疑応答。

・県外で就労されている方など、ジョブコーチが通える範囲も検討課題。

オ 事業所向け調査の実施について

・福祉的就労連絡会において取り組むべきことを具体化させるため、地域課題の把握を行うべく、柏市内就労継続支援事業所向け調査を実施(～11月5日)。

・結果を分析し連絡会にて公表、意見交換を予定。

カ 事業所継続における感染症対策の取組み

・陽性者や濃厚接触者または疑いのある方が出た時の対応について意見交換。

・ワクチン接種に関連することや、緊急時の動きについて意見があった。

・感染症対策における行動制限について、どこまでお願いするか難しい。今後も対応や具体例を共有していきたいとの意見があった。

(今後の活動予定)

1 はたらく部会

(1) 支援者向け研修会：12月3日(金)WEBによる開催

(2) 第3回：1月19日(水)WEB及び対面による開催

2 一般就労連絡会

(1) 第3回：12月22日(水)WEB及び対面による開催

(2) 企業向けセミナー：令和4年2月4日(金)WEB及び対面による開催

3 福祉的就労連絡会

第3回：12月22日(水)WEB及び対面による開催

<p>【部会名】 こども部会</p>	<p>【担当】 社会福祉法人桐友学園 新福 麻由美</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 こども部会</p> <p>(1) 第2回：9月15日（水）対面、リモート併用による開催</p> <p>ア サポートファイルの活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートファイルの医療情報シートについて、こども発達センターより説明。</li> <li>・社会福祉法人青葉会の取り組みについて、松井副部長より説明。サポートファイルの中身の検討に終始するのではなく、まずは青葉会、桐友学園、こども発達センターで取り組みを進めていくこととした。</li> <li>・市からファイルの配布がなくなったため、事業所としてはダウンロード可能なシート部分しか配布が出来ない。保護者が認識しやすくなるよう、表紙部分も配布できると良い。</li> </ul> <p>イ 不登校について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市の不登校の状況について、柏市教育委員会児童生徒課より説明。</li> <li>・不登校児童の受け皿の1つとして、放課後等デイサービスが考えられる。しかしながら、利用にあたっては制度上の課題が大きいと意見があった。</li> <li>・特別支援学校在籍児童についても、不登校状態の子どもがいる。学校、保護者、相談支援事業所で連絡を取り合って支援にあたっている現状が挙げられた。</li> <li>・今後の課題として、学校に様々な不登校児童への支援機関があることを周知していくことが重要であるとされた。</li> </ul> <p>ウ 新型コロナ感染症関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市のコロナ感染症とワクチン接種の現状について、障害福祉課より報告。主な意見は下記の通りである。</li> <li>・集団接種会場に障害児・者が行くことに困難があり、障害児・者がワクチン接種を行う時間帯を決めることは出来ないか。</li> <li>・保護者のみでワクチン接種に連れて行くことが困難な家庭もある。ヘルパーの利用等、障害福祉サービス利用の可否について情報提供をしてほしい。</li> <li>・入所施設職員のみではなく、通所系施設職員へもPCR検査をしてほしい。</li> </ul> <p>2 事業担当者会議</p> <p>(1) 第2回：10月15日（金）リモート開催</p> <p>ア 令和3年度報酬改定を受けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で意見交換を行い、障害福祉課から回答を受けた。主な意見は下記のとおり。</li> <li>・緊急時の受け入れによる定員超過については、災害、虐待その他のやむを得ない事情がある場合の定員超過は、記録を残していれば考慮する。コロナ感染症関連による定員超過の場合は、市に相談してほしい。</li> <li>・コロナ以前は定員超過について、都度、市に確認をしてほしかった。コロナ期間</li> </ul>	



中は、保護者がコロナ感染症を理由としている場合の定員超過は、厚労省からも可とされている。定員超過の理由を記録しておき、実地指導の際等に確認ができるようにしておいてほしい。

- ・『令和3年度障害福祉サービス等報酬改定等に関する Q&A VOL. 4（令和3年5月7日）』では、「障害児の家庭の状況や、地域資源の状況等から、当該事業所での受け入れをしないと、障害児の福祉を損ねることとなる場合」は、やむを得ない事情として認めるとされていることについて、市として一律で定員超過を可とするわけではない。お子さんがどうしても特定の事業所しか使えない場合や、事業所で定員範囲内となるよう調整しようとしたが出来なかった場合等の個別の対応が出てくる。市に相談をしてほしい。

#### イ 放課後等デイサービス事業所情報シートについて

- ・令和元年度版事業所情報シートについて、事務局より説明。
- ・事業所情報シートについては、他法人の情報を知ることができる、保護者への情報提供が可能になる、自法人の特色がアピールできるとの意見があった。
- ・保護者が自身でセルフプランを作成し、放課後等デイサービスを利用する児童が増えている。事業所情報シートを保護者の方が参照することができるよう、情報公開をしていくことはできないか。
- ・事業所情報シート作成については、肯定的な意見が多かった。事務局で再度検討し、改めて提案していくこととした。

#### ウ 新型コロナウイルス感染症関連

- ・柏市のコロナ感染症とワクチン接種の現状について、障害福祉課より報告。
- ・高齢者施設職員は優先接種枠に入るが、障害児通所施設職員は優先接種枠に入っていないのは何故かと意見があった。

#### エ 市内の虐待案件について

- ・今年度柏市内であった放課後等デイサービス事業所での虐待案件について、障害福祉課から報告。虐待は通報義務があるが、職員が虐待という認識を持っていなかった。日々の支援の在り方とともに、自身の行為が虐待行為にあたるのかについても日々検証していく必要がある。今後、事業担当者会議内で虐待について考える機会を設けることも検討していく。

#### 【今後の活動予定】

##### 1 こども部会

第3回：令和4年1月17日（月）

##### 2 児童発達支援連絡会

第2回：令和3年11月26日（金）児童発達支援事業所連絡会研修会と合同開催

<p><b>【部会名】</b>          柏市障害者差別解消支援地域協議会          柏市権利擁護ネットワーク会議における          障害者に関する専門部会</p>	<p><b>【担当】</b>          障害福祉課 田中</p>
<p><b>【開催報告】</b></p> <p>1 柏市障害者差別解消支援地域協議会及び柏市権利擁護ネットワーク会議における          障害者に関する専門部会</p> <p>(1) 第2回：9月10日（金） WEB 開催（ZOOM）</p> <p>ア 新任委員の紹介          イ 障害者虐待の通報・届出，成年後見制度利用支援事業の状況          ウ 権利擁護研修について          エ 各機関における障害者への配慮に関する取組について          オ 事例紹介</p> <p>2 柏市障害者権利擁護研修会</p> <p>(1) 第1回：7月20日（火）          「障害者虐待防止について」 100名参加          講師：東葛総合法律事務所 弁護士 萩原 得誉先生          ※福祉サービス事業所初任者向け</p> <p>(2) 第2回：10月19日（火） 110名参加          「やまゆり園事件を取材して思うこと」          講師：毎日新聞社 毎日新聞デジタル報道センター 記者 上東 麻子氏          ※福祉サービス事業所従事者向け</p>	
<p><b>【今後の活動予定】</b></p> <p>1 柏市障害者差別解消支援地域協議会及び柏市権利擁護ネットワーク会議における          障害者に関する専門部会          第3回：1月14日（金）対面による開催予定</p> <p>2 柏市障害者権利擁護研修          第3回：3月4日（金）          「障害者虐待防止の更なる推進について」          講師：学校法人 日本社会事業大学 准教授 曾根 直樹先生          ※福祉サービス事業所管理者向け</p>	

<p><b>【部会名】</b> 柏市障害児等医療的ケア支援連絡会</p>	<p><b>【担当】</b> 社会福祉法人ぶるーむ 後藤</p>
<p><b>【開催報告】</b></p> <p>1 ワーキンググループ「インクルーシブ教育・保育について」</p> <p>(1) 第1回：8月27日（金）オンラインによる開催</p> <p>ア 現状把握共有と課題整理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での医ケア児受入れ状況と課題認識について、教育委員会から現在在籍している医ケア児の概要と支援状況、また今年度より新たに配置した医ケアコーディネーターについて、配置の経緯と業務内容について報告があった。</li> <li>・保育園／幼稚園での医ケア児受入れ状況と課題認識について、相談受付及び受け入れ状況についての報告及び、今年度成立した医療的ケア児支援法を踏まえて現状の受入れ要件の見直しの方向との報告があった。</li> <li>・ワーキングメンバーによる豊四季保育園視察について報告があった。</li> </ul> <p>イ 今年度の具体的な目標設定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園での受入れ要件およびプロセスの見直しについて意見交換を行った。</li> </ul> <p>(2) 第2回：10月20日（水）対面による開催</p> <p>ア 保育園での受入れ要件およびプロセスの見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回開催以降の進捗状況について、保育運営課から報告があった。</li> <li>・受入れ要件およびプロセスの設定について、学校、児童発達支援事業所、こども発達センターからそれぞれ実際のプロセスおよび保育園に希望すること等について報告と意見交換を行った。</li> </ul> <p>2 ワーキンググループ「医ケアコーディネーターの育成について」</p> <p>(1) 第1回：11月1日（月）対面による開催</p> <p>市内相談支援事業所に所属する医ケアコーディネーターの、現在の医ケアに関わる支援件数及び進捗状況、課題と感ずること等について報告の上、今後支援に資する知識の積み上げを目的とした事例紹介・検討会の定期開催を行う旨を確認した。</p> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市障害福祉課が実施した医ケア児・者の実数調査の集計が完了。事務局と情報共有している。</li> </ul>	
<p><b>【今後の活用予定】</b></p> <p>1 ワーキンググループ「高校卒業後の地域生活について」</p> <p>(1) 第1回：11月26日（金）対面、オンライン併用による開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の社会資源及び受け入れのハードルとなる要素の整理</li> <li>・医ケア者の受入れを進めていくために必要な体制整備・医療連携について</li> </ul>	

<p><b>【部会名】</b>          柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議</p>	<p><b>【担当】</b>          たんぽぽセンター 森根</p>
<p><b>【開催報告】</b></p> <p>1 実務者会議</p> <p>(1) 第2回：7月28日（水）WEB+グループごとの対面による開催</p> <p>(2) 第3回：9月21日（火）WEBによる開催</p> <p>各回とも、普及啓発、医療、障害福祉の3項目において、柏市の課題解決に向けての具体的取組を検討、意見交換を行った。引き続き検討する。</p> <p>※実務者会議の前に、コアメンバーで集まり、実務者会議での検討内容について事前打ち合わせを行った。</p> <p>2 代表者会議</p> <p>(1) 11月4日（木）WEB+対面（柏市地域医療連携センター）による開催</p> <p>ア 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について（説明）</p> <p>イ 柏市ノーマライゼーションプランについて（説明）</p> <p>ウ 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けての課題及び現状の取組について（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普及啓発グループ  「市民に向けての障害理解の促進」を目的に、動画やパンフレットを作成する</li> <li>・医療グループ  医療連携シートの活用及び効果を検証する</li> <li>・障害福祉・介護グループ  多職種連携がうまくいくためにどうすればよいかを検証する</li> </ul> <p>エ 東葛圏域ピア交流会について（報告）</p> <p>R3年度の活動報告及び今後のピアサポート交流会によせる期待について</p>	
<p><b>【今後の活用予定】</b></p> <p>1 実務者会議</p> <p>(1) 第4回：12月22日（水）WEB+グループごとの対面による開催を予定</p> <p>(2) 第5回：R4年2月24日（水）対面による開催を検討中</p>	

<p>【部会名】 柏市地域生活支援拠点運営協議会</p>	<p>【担当】 障害福祉課 宮本</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 柏市地域生活支援拠点運営協議会</p> <p>(1) 第二回：10月22日(金)対面による開催</p> <p>ア 各拠点の活動報告</p> <p>4 拠点代表者より、相談実績や、緊急対応状況、人材育成の取組等の活動報告を行った。</p> <p>イ 相談支援の充実について</p> <p>あいネット松島所長より総合相談についての報告。主な意見は下記のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフプランでサービス利用している児童についての、相談先が必要。現状は、児発や放デイのサービス管理責任者が担っている事業所も多い。</li> <li>・触法ケースの支援について、ワーキンググループを作るなどの勉強が必要。</li> <li>・いろいろな社会資源はあるが、上手く連携をとることが必要。</li> <li>・特定相談支援事業所と拠点の連携について、ケースの状況が悪化する前から一緒に動ければスムーズではないか。</li> <li>・拠点・委託で新規サービス利用時のインテークを行い、計画の必要があるかセルフプランでも問題がないか振り分けができるといいのではないか。</li> <li>・拠点同士のネットワークを分かりやすく示してほしい。</li> </ul> <p>ウ 災害時の対応について</p> <p>事務局より、福祉政策課作成資料に基づき、個別避難計画について説明。今後進展していく中で、拠点の関わりについて協議していく。</p> <p>エ 拠点に期待すること、その他</p> <p>ワクチンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市の障害者への配慮等、遅かった。</li> <li>・集団接種会場での、行動障害のある障害者への対応など想定されてなかった。</li> <li>・拠点でもできることを振り返りたい。</li> </ul>	
<p>【今後の活動予定】</p> <p>1 柏市地域生活支援拠点運営協議会</p> <p>今年度は第二回の開催で終了。</p>	